

	<p>母の日に広がるピンクリボンの輪 事前のお知らせ</p> <p>フラワーショップで乳がん検診の啓発キャンペーンを実施 ～お母さんへの感謝とともに「乳がん検診メッセージ」を届けたい～</p>
<p>と き</p>	<p>5月8日(午前10時～12時30分)</p>
<p>と ころ</p>	<p>区内フラワーショップ 22店舗、としまえん(向山3丁目) 西武池袋線練馬駅</p>
<p>8日、区は乳がん体験者の会「あけぼの - NERiMA - 」と協力し“母の日”に合わせた乳がん検診の啓発キャンペーンを展開する。区内のフラワーショップで、母の日に贈る花束とともに、乳がん検診受診を促すメッセージ入りのティッシュを配布する。</p> <p>乳がんり患率が高い40～50歳代の女性は、子育てや仕事で忙しく、検診に足が向きにくい背景がある。そこで「あけぼの - NERiMA - 」は、母の日に母親に感謝を込めた花と共に、乳がん検診を勧めるメッセージを届けることを企画し、昨年からは区と協働で実施することになった。</p> <p>母の日は、フラワーショップにとって繁忙日だが、区職員も直接、店舗を訪問して趣旨を説明するなどして、企画への賛同を呼び掛けた。2回目の実施となる今回は、区内22店舗の協力を得て実施する。</p> <p>当日は、フラワーショップのほか、(株)豊島園と西武鉄道(株)の協力のもと、としまえんと西武池袋線練馬駅前でもメッセージ入りティッシュを配布する。</p> <p>「あけぼの - NERiMA - 」の会員の西貝圭子さん(区内在住)は、「母の日にキャンペーンをするのは、“お母さんの健康が家族の笑顔を作る。”という思いがあるから。少しでも多くの方に、乳がん検診の大切さを届けたい」と話している。</p>	



昨年のフラワーショップでの様子

【練馬区の乳がんの状況】

平成26年度練馬区の乳がんの年齢調整死亡率(75歳未満)は、人口10万人対10.9と、国(10.5)や都(11.9)とほぼ同様であり、女性のがん死亡の1位である。一方で、練馬区の乳がん検診の受診率は平成26年度において21.2%と低迷しており、5人に4人が検診を受けていない状況である。

乳がんは、早期発見・早期治療で9割以上の方が治ると言われている。日頃から月1回の自己触診を行い自分の身体に関心を持ち、乳がん検診を受けることが大切である。



啓発メッセージ入りティッシュ

【今年度から乳がん・子宮がん検診の無料体験チケットを送付】

区は今年度から、乳がん・子宮がん検診を初めて受診できる年齢の方に、受診のきっかけにいただくため、がん検診を無料で受診できるチケットを送付した。通常、区のがん検診では、700円～1,000円の自己負担が発生する。

対象： 乳がん検診...区内在住の40歳の女性 子宮がん検診...区内在住の20歳の女性
いずれも年齢は平成29年3月31日現在。

【あけぼの - NERiMA - とは】

乳がん患者会「あけぼの会」(全国組織：昭和23年発足)のうち、練馬区の在住メンバーが中心となったグループで平成24年に発足した。乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動を行っている。

【問い合わせ】練馬区 北保健相談所 地域保健係 電話03-3931-1347